

# PLアドバイザー 書籍購入者向け 有料講習とPL検定のご案内

2026年後期

3時間、  
専門知識習得は3万円(税別)  
今すぐ開始!

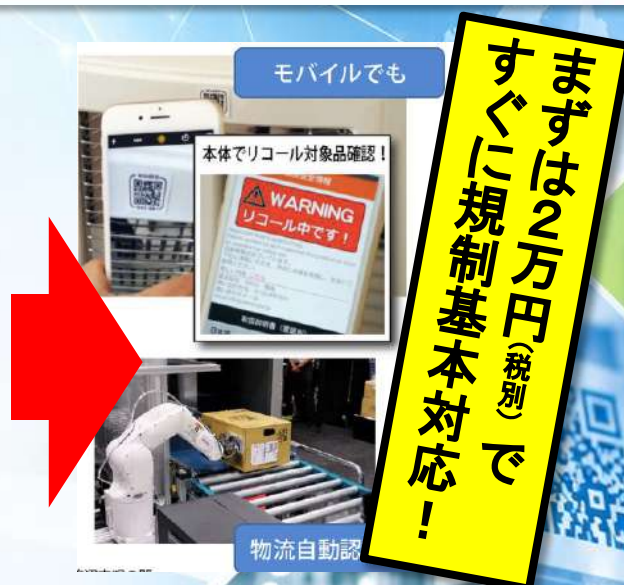
今年の12月9日以降に、EUへ出荷・販売されたものは製品やシステムなども含めて大変厳しいPL法の対象になります。

- ・ リコール通知ができなかった!
- ・ 製品寿命や点検を通知できなかった!

その結果責任、一切言い訳は通用しません。



- ➡ **自動認識による出荷ロット管理**  
今すぐ製品に以下の対応ができるたった一つのQRコードを貼って出荷する!  
これで以下が開始できます。
- ➡ **DPP対策**(デジタル・プロダクト・パスポート)  
今の取説と製品によっては検査合格証明書などを登録します。
- ➡ **データ管理**(出荷ロット単位)  
順次改善されたデータにいつでも入れ替えできます。
- ➡ **重要な情報の通知**  
画面をシーンに切り替え使用者に負担を与えず必要な情報をプッシュします。
- ➡ **個人情報を使わない**  
B2Cトレーサビリティでも個人情報リスクを大幅に低減します。



まずは2万円(税別)で  
すぐに規制基本対応!

scodtは13桁の製品識別コードと出荷ロットを決めれば直ちに専用QRを発行します。  
一度登録すればずっと表示!

**これができないと販路側負担が急増!**  
**できれば一気に市場競争力を証明できます。**



一般社団法人 APL-Japan  
<https://apl.or.jp>



# PLアドバイザー 書籍購入者向け 有料講習のご案内

2026年後期

実務への効果的かつ  
**迅速な反映**が  
この講習の目的です。

トリセツの改善



規制対応



出荷後の製品  
トレーサビリティ、  
できていますか？



今の説明書の  
ルール、根拠は  
最新ですか？

何が変わったのか、確認してください。

下記で点検しましょう。

- ❑ 取扱説明書や表示は、仕入れ先、購入者や使用者、時に修理やメンテナンスでも必要な重要な情報です。
- ❑ よって、この情報の内容、書いてあることなどが確実に伝わるものが何よりも重要です。
- ❑ 一方、製品が複雑になり、使用上の情報が増えたり、時に故障などのトラブルもわかりにくくなっています。
- ❑ まず、不具合によるトラブルが出荷後に発見された場合、特に重大な被害に至るケースでは、その使用中止を直ちに伝えなければなりません。
- ❑ 伝える方法としての個人情報の精度と到達率は、出荷後の時間経過で劣化し、製品そのものの経年劣化も進みます。
- ❑ まずは直ちにリコールを直接、例えば5年、10年後でも正確に使用者に伝えられるのか、が問われています。
- ❑ 説明書の閲覧から、修理点検、製品寿命、そしてリコールや使用終了後の廃棄方法までリアルタイムに通知できますか。
- ❑ 以上を対応システムの体験で確認していただきます。



## 使用情報の 要求項目

- ① JIS Z 82079-1:2026
- ② EU GPSR/PLD
- ③ 消費者基本法
- ④ 国内安全法
- ⑤ 表示対策関連法
- ⑥ 個人情報保護関連法など



講習を受講後、知識度の確認にPL検定を行います。  
その後は担当インストラクターが継続的にご相談などに対応します。

# なぜJIS Z 82079-1:2026が影響するのか？

## 世界での製品情報のルール、重要なことです！

当団体では2005年より「取扱説明書ガイドライン」を発行し、取扱説明書の品質・機能性、特に目的を明確にし、その目的を達成するための「情報」として「消費者の知る権利」を全うする「事業者の伝える責任」を主張しています。

PL対策とは：

人の生み出したものは全てProductとし、廃棄されるまでその責任は生産販売した事業者の責任である。その責任を達成するために、日本では「消費者基本法第5条」に定められたことを順守するために、生産もしくは輸入販売した事業者が消費者安全に取り組むことをPL対策とします。

電子化も多用化する社会においての国際ルール、IEEE 82079-1:2012に注目し、「取扱説明書ガイドライン2022」にて、デジタルアプリを利用し、その目的を達成することを示しています。そして2026年8月20日にJIS Z 82079-1:2026が公表され、これまでの製品の付属品としての取扱説明書は想定通り、重要な製品やサービスの構成部品となりました。

社会構造も日本ではPL法施行は1995年と世界より10年遅れ、それから改定されておらず、EUでは2026年12月9日以降にEU域内に出荷、販売されたものは改正PL法の対象となります。

この新JISでは序文に「欠陥のある情報は危害又は損失をもたらし、供給者若しくはブランド所有者に対する告発又は賠償請求に至ることがあり得る」と明記されています。

被害なくとも、例えばリコールを実質的に迅速にできないとGPSR(日本では経産省のPS)の義務違反、そして被害ができればPL法などによる懲罰的賠償になります。

- 取説を直せば良い
- 表示はそんなに重要ではない
- 設計や客先から言われたことを書いておけば良い
- 取説を同梱するまでが仕事
- 市場クレームは担当任せ
- 取説や使用者情報はQRコードでやっている
- 版管理って何？

これがひとつでもあれば  
重大な経営責任  
が問われます。



取扱説明書ガイドライン

デジタルコンテンツ  
も含め作ったデータの  
UX/UIの実行

製品ライフサイクル  
全体で管理、異常  
の発見も含めた対  
応知識の習得

この専門家がPLアドバイザーです。



最新！PL対策解説書

# 有料講習について

## 講習内容 p8の重要事項を確認してください。

1. この講習は、PL検定合格者のスキルアップやこれから受験する方々のために毎年複数回開催しています。
2. JIS Z 82079-1という取扱説明書や安全情報の通知を定めた国際規格が2026年8月20日に制定されたことで、これまでの知識を見直す必要があります。
3. この内容は、EUにて2024年からの製品安全ルールGPSRと今年12月9日以降にEU全域での改正PL法の対象になることが判明しています。
4. それらの対応には、単に取説やラベルの改善ではなく、AIも含む製品やサービスのデジタルシステム、動画なども含めた「通知責任」の質と直結します。
5. 製品の設計には従来の安全基準と、さらに出荷後の市場監視、迅速な品質異常発見時の対応など、これまでの方法や責任の所在は明確に変わっています。

それらをこの講習で知識を得て、その後、担当インストラクター、講師などが相談などを継続させていただきます。

- 法人で同時に5名以上受講される場合は、事務局とご相談ください。必要に応じ、講師は現地に出張し事前相談などを行います。
- 書籍を社内で共有することはかまいませんが複製・複写・転記・転用は一切禁止しており、受験者は一人一人が所持してください。
- 受講はZoomで行います。
- 基本的に講習はすでにPLアドバイザーとなっている個人もしくは書籍購入者であり、法人で複数購入した場合は申請時にその旨を記載いただきます。
- 受講開始前にその確認をいたします。
- 受講内容は申し込まれ受講した方にお伝えすることが原則です。このため周囲に他の方がいる場合はイヤホンなどで講師の音声は聞こえないようにしてください。
- これは、当講習がPL事故や義務違反と直結するので、誤った知識や講師が質問、回答する内容の真偽に深く関わることが過去発生していることによるトラブルの未然防止のため、定めています。

取扱説明書をデジタル化し、新しい基準に適合するUX/UIを具体的に体験いただきます。

- GS1というルールは何か
- JIS Z 82079と法律規制との関係
- 日本とは何が違うのか
- PL保険は大丈夫か
- その影響や責任はどうなるのかなど

## 最新！PL対策について

[https://apl.or.jp/?page\\_id=2288](https://apl.or.jp/?page_id=2288)



## 講習・検定申し込みフォーム

[https://apl.or.jp/?page\\_id=7306](https://apl.or.jp/?page_id=7306)

1. 上級用ですが初級もこちらからご登録ください。
2. 事務局より説明・確認のご連絡をさせていただきます。
3. 受講実績により初級、上級の検定に進みます。
4. 費用振り込みが3週間ない場合はキャンセルとします。



# 講習1 取扱説明書などの改善

2026年後期

## 使用情報としての取扱説明書・表示そのものを点検し、改善する！

JIS Z 82079-1:2026とEU規制を確実に理解し、社内の点検を行います。そのための知識を習得いただきます。

### 最も重要なポイントは

- 残存リスクの見直し
- サイレントチェンジを含めたサプライチェーンでの出荷から消費・廃棄されるまでの市場監視と対応
- 設計から製造を含めた本質安全の社内ルールの見直し、その検証方法の確立
- リコールの確実な実行性を点検し改善する
- 5年10年後もリスクコミュニケーションができること
- 新たな時代の専門家を継続的に育成する
- 対応システムの検討を直ちに開始、上記の取り組みに必要な「B2Cデジタルシステム」の確認
- それらが今すぐできない場合はscodt cloudを利用し、試験利用を開始し、対応準備を進める。



Before

After

### 優待制度

PLアドバイザーは11,000円(2027年の更新講習になります)  
パートナー会員、正会員は22,000円となります。

|      | 講習は3時間(1単位)です。費用33,000円/一人                                                                                                                                                                                                                        |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1時間目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連法、JIS Z 82079-1などを理解し、その目的を達成するための知識習得</li> <li>・ 「みんなで考えよう」を用いて表示や安全情報の重要性、</li> <li>・ 事故トラブルとその未然防止について表示の機能を考えます。</li> </ul>                                                                        |
| 2時間目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際のパッケージや本体表示、取扱説明書の検証を行います。</li> <li>・ 特に注意書きと保証規定などを重視します。</li> <li>・ 守秘性のあるものは個別に対応します。</li> <li>・ 自社スタッフだけ、個人指導的に行う場合で自社のものを利用する場合は、受講者が共有しそれに講師が意見をいうなどの方法で行います。</li> <li>・ データはうけとりません。</li> </ul> |
| 3時間目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改めて参考事例のものの全体を見直し、ガイドラインの記載内容と自身の理解度を点検します。</li> <li>・ 疑問などは積極的に挙手し確認してください。</li> <li>・ 講師も調べる必要のある場合は後日回答になります。</li> </ul>                                                                              |

# 講習2 スマート社会の体制整備

2026年後期

## 情報更新管理・市場監視・リコールなどの通知の見直し、リスクを低減しBCPを実行する社内体制を整える

JIS Z 82079-1:2026によるグローバル対応はすでにEU、北米などで進んでいます。Productという言葉はあらゆるものが含まれ、今回の改正は製造者、輸入者責任から一気に販売者、出荷した事業者の責任が明確に示されています。

### 重要なポイントは

- 必要最低限の情報に整理する
  - 読み手を限定せずわかり安さの徹底
  - 説明書などと本体表示の整合性検証
  - リスクアセスメントをさらにクレンジングする
  - webサイト、ECなどの個人情報や保証、トラブル対応のUI/UX対応、表示改善はガイドラインに従い実務指導
  - データの版管理と入れ替え、抽出などの方法
  - 緊急時の初期対応の基本
- 使用するテキストは「最新！PL対策解説書2022」です。必ず一人一冊ご用意ください。そこにたくさん書き込んで、付箋なども利用し、重要なポイントをすぐに探せるようにしましょう



**リコールを直ちに実施、通知すること！**

### 優待制度

PLアドバイザーは11,000円（2027年度の更新対応ができます）  
パートナー会員、正会員は22,000円となります。

|      | 講習は3時間（1単位）です。費用33,000円/一人                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1時間目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「みんなで考えよう」を用いて表示や安全情報の重要性を全員で点検。</li> <li>・ 事故トラブルとその未然防止のための体制整備、品質規定、品質保証規定の点検。</li> </ul>                                                                                                                                                        |
| 2時間目 | <p>現在の取扱説明書や社内体制の検証を行い採用基準などの点検を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に注意書きと保証規定などを重視します。社内規定との照合も行います。</li> <li>・ 守秘性のあるものは使わないでください。</li> <li>・ 社内PDCAの改善、項目の取り組みを点検し、24時間対応を目指します。</li> <li>・ 現在のリコールなどの対応システムを確認します。</li> <li>・ 特に事故被害発生が発見をどのようにするのか、その初期対応の確認</li> </ul> |
| 3時間目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社内や取引先などとのリコールテストなどの実施に向けた準備と実施確認</li> <li>・ 販路の法規制などへの対応</li> <li>・ リコール、サイレントチェンジなどのノウハウなども本質から理解いただけます。</li> </ul>                                                                                                                               |

# PL検定の受験について

法律や技術基準、世界の求める安全情報品質を推進する日本で唯一、PL対策の専門知識を持ったPLアドバイザーは2005年から行っている当団体のPL検定を合格、継続して講習などでスキルアップを行なっている専門家です。

## 受験に際して

1. 有料講習を受講してください。
2. 受験は申請フォーム記載のメールアドレスに回答フォームをURLをお送りします。
3. 顔出しでzoomに参加し回答いただきます。
4. テキストや資料は閲覧可能です。
5. 試験時間は1時間です。
6. 後日受験する場合は、その旨講習集受講申し込み時に連絡ください。その場合は、受講証明書を事務局からお送りしますので3か月以内に必ず受験ください。それを過ぎると改めて講習を受講いただきます。

### PL検定初級 講習1単位にて受験・費用は講習費用に含まれています

1. 基本知識の習得が目的であり専門は問いません。これはあくまでも入り口に立っていただくための検定で、多くは社員研修などに利用されています。
2. 講習1・2のどちらかを受講された方が対象です。

### PL検定上級 講習2単位にて受験 ※同一講習を2回受講しても可能です

1. 2単位目の講習後直ちに受験することをお勧めします。
2. 専門性をたかめていただき実務に直接関わる方が受験されています。
3. 当団体のシステムや検証プログラムを合格後、実際に実務上で利用するなどの権利を得ます。

### PL検定インストラクター 講習費込み 22万円

1. 上級合格者がリコールや事故発生初期対応なども合格後所定の講習や訓練を行い指導員として当団体のフロントで活躍いただきます。
2. PL研究学会での論文発表、研究に参加などを通し時代の最先端のPL対策の専門家になっていただきます。
3. コンサルティング、自営のデザイナー、国内管理人などにお勧めです。

- 合格後資格は1年更新で有料講習の受験が義務となります。
- 合格すると当団体所属の正会員となり、継続して講習や担当インストラクターのアドバイスなどを受けることができます。次ページを参照ください。
- 初級は基本的な内容の確認までとなります。具体的な実務指導は上級以上ですがアドバイスなので責任は負えません。
- 社内や地域、団体などでのセミナー講師などを行う場合は必ず事務局に連絡いただき、担当インストラクターの指示に従ってください。それをおこなわずに誤解を招く行為があると資格に影響します。

# 今すぐ始めましょう！

## 重要事項

お申し込みから受講、受験は下記の手順です。

講習を受験した方が講習終了後に検定を受験できます。

1. 右の専用登録フォームにてご希望の内容で仮登録ください(p4のQRコード)。
2. 本書ご案内の内容、重要事項をよくお読みください。
3. 申し込みされると3営業日を目処に内容や日程の調整及び当日のzoom環境の事前確認の連絡をいたします。ご希望の日時を3件、お知らせください。
4. 事前確認当日に具体的な手続きを説明します。
5. 講習後の受験について、初級、上級、インストラクターの選択を確認します。
6. テキストの有無の確認、ない場合は購入方法をご案内します。
7. 費用のお支払いの確認をします。口座などはメールもしくはショートメールにてご連絡します。
8. お振込の確認ができましたら、講習のZOOMアカウントなどをメールします。
9. 当日、やむを得ない理由での延期は1回だけです。
10. クーリングオフは費用お振込から7日以内にご連絡ください。代金は翌月10日までにご指定の金融機関口座にお振り込みします。手数料はご負担ください。
11. 講習が終わると同日、検定を受験いただきます。当日受験のできない方は、受講証明書をお送りし、3か月以内に事務局と改めて連絡を取り受験ください。受験もZOOMになります。
12. 受験後の合格通知は合格書を事務局よりお送りします。

| 受講・受験(zoom)                       | 単位     | 費用(税込)   | テキスト(別途購入)      |
|-----------------------------------|--------|----------|-----------------|
| 講習1 取扱説明書などの改善                    | 1(3時間) | 33,000円  | 取扱説明書ガイドライン2022 |
| 講習2 スマート社会の体制整備                   | 1(3時間) | 33,000円  | 最新！PL対策解説書2022  |
| PL検定初級                            | 1      | 講習に含む    | 3か月のサポート        |
| PL検定上級                            | 2      | 講習に含む    | 6か月のサポート        |
| PL検定インストラクター<br>担当インストラクターによる直接指導 | 2      | 220,000円 | 指導者としての情報共有と支援  |

□ MCPを利用される場合、インストラクター受験の方はコンサル費用の大幅減額、上級の方は担当インストラクターとの交渉が可能です。

□ 下記は表紙に示したscodtGS1QRシンボルの発行費用です。システム運営件のある担当インストラクターが必要事項を登録し22,000円で1シンボルを発行します。削除要請のあるまで配信は継続します。

□ 大口の場合はシステム自社構築などの支援を行います。

コード発行費用(※会費以外は消費税が加算されます。自社員などがインストラクターの場合はその費用は不要です。)

| プラン名 | コード発行数<br>(新規年間) | 管理費用<br>(年間) | 年会費      | 合計          | インストラクター費用<br>(管理費に含まれる) |
|------|------------------|--------------|----------|-------------|--------------------------|
| C    | ～10件@¥20,000     | ¥450,000     | ¥10,000  | ¥450,000+@数 | ¥240,000                 |
| S    | ～100件            | ¥750,000     | ¥200,000 | ¥950,000    | ¥400,000                 |
| M    | ～1,000           |              |          |             |                          |